

授業概要

「王朝由来の文化・美術」をテーマとし、平安時代の生活や、文学に関わりの深い周辺文化について講義します。

平安時代以降、その流れを汲んだ日本文化は少しずつ形を変えながら現代に受け継がれています。その中には、現代の私たちに馴染み深いものもありますが、あまり馴染みのないものも少なくありません。本授業は、王朝文化に端を発し、現代にも息づいている文化・美術について学びます。具体的には、前半に王朝ゆかりの染織や服飾について学び、後半に王朝文学を素材とした美術品や工芸品、古筆の名品などについて講義します。

授業計画

第 1 回	今後の授業の進め方について
第 2 回	染織とかさね色目について
第 3 回	打出について
第 4 回	十二単について
第 5 回	天皇の装束
第 6 回	古筆の鑑賞① 西行の筆蹟
第 7 回	古筆の鑑賞② 高野切
第 8 回	佐竹本三十六歌仙絵
第 9 回	さまざまな歌仙絵
第 10 回	国宝源氏物語絵巻
第 11 回	土佐派、狩野派の源氏絵
第 12 回	伊勢物語の絵画① 俵屋宗達
第 13 回	伊勢物語の絵画② 住吉派など
第 14 回	古典文学の意匠① 和歌のデザイン
第 15 回	古典文学の意匠② 物語のデザイン
第 16 回	期末テスト

到達目標

- ①さまざまな王朝由来の文化・美術について、自分の言葉で説明できる。
- ②古典文学と文化・美術の関係性について理解できる。
- ③古筆や物語絵などの鑑賞方法、および研究方法を習得する。

履修上の注意

遅刻・居眠り・途中退出・私語・携帯電話やスマートフォンの使用は慎むこと（迷惑行為が認められた場合は退室していただきます）。

授業は講義形式ですが、適宜受講生に意見を求めます。主体的な学習意欲をもって履修してください。

予習・復習

予習：次回扱う内容について下調べし、分からない語句等を調べておく。

復習：ノートやプリントを整理し直し、分からない箇所は教員に質問するなどして明らかにしておく。

評価方法

授業への参加態度 30%、コメントカード 20%、期末テスト 50%を目安として総合的に評価します。

テキスト

毎回プリントを配布します。

参考文献は、授業の中で適宜紹介します。